日刊 動労千葉

83, 4, 22

No. 1322

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二(22)七二〇七

交渉速報 4/21 早期有額回答をせまる

’83新賃金才七回交渉 4/21

八三新賃金をめぐる闘いは、いよいよ大づめの段階に突入している。動労千葉は、第七回定期大会の決定方針にふまえ、各種機関会議の確認を経て、3月14日「申第十号」を発出し、中江選挙闘争の取り組みと併行し、4月1日第一回団体交渉を皮切りとする大巾賃上げ獲得のたたかいを展開してきた。

いかなる格差も認めない

4月21日、第七回団体交渉の中で、動労千葉は、この間の交渉経緯にふまえ、

① 民間賃上げの動向が見きわめられる情勢になったことも含め、誠意をもって早期有額回答をすべきである。

② 業績を云々して公企体間にいかなる格差をつけることも絶対に認められない。民間準拠問題も含め、この間の賃金決定の歴史的経緯を尊重すべきである。

③ 組合員の厳しい生活実態があることをうけとめ、当局は賃上げの早期実施について責任ある約束をすべきである。

の三点について、強く当局を追及した。

基本的に対立

これに対し、当局側は、「早期有額回答の要求などについて、組合側から強い主張のあったことはうけとめるが、新賃金問題については厳しい状況にあり、今日段階においては、当局の考え方を明示することはできない。引き続き団体交渉の場で詰めてゆきたい」との回答に終始した。

動労千葉は、「当局がこのような不誠実な対応を続ける限り、他の交渉事案などについて一切協力できない。そのことによって起る混乱の一切の責任は当局にある」ことを通告し、対立のまま、第七回団体交渉を終った。

闘いを強化しよう！

この間の八三新賃金に関する団体交渉において、動労千葉は「申第十号」の他、この間の生活実態調査などに基いて策定した「一九八三年四月一日以降の賃金引上げ要求の理由」等の資料を提示し、「厳しい情勢」を主張する当局を追及してきた。

1. ベアに対する基本的考え方、
2. 生活および生計費の実態、
3. 国鉄労働者の賃金水準、
4. 国鉄労働者の労働態様、
5. ポイント賃金の考え方、

等々、議論は対立したままであるが、無謀な合理化強行の中で、国鉄労働者が、運転保安等の労働条件・福祉厚生的施策・賃金など、あらゆる面で厳しい生活実態にあることについては、当局でさえ否定しえない。賃金面上の生活基盤の確立は不可欠の急務である。

動労千葉は、以上の立場で、公労委の場その他あらゆる手段を行使して、4月22日以降も闘いを強化し当局を追及してゆく。

中江選挙闘争勝利、大巾賃上げ獲得へむけて、さらに闘いを強化しよう！

中江選挙必勝を！

4月24日(日)
区・市・町・村会議員選
には、この人を

船橋市　中江昌夫（新）
成田市　北原鉱治（現）
銚子市　佐藤新治（〃）
勝浦市　鈴木治資（〃）
館山市　田沢勝信（〃）
鎌ケ谷市　網野博光（〃）
浦安市　渡辺一男（〃）
千葉市　小川義人（〃）
千葉市　中堀きみ子（現）
木更津市　前田通子（〃）
小見川町　井上千明（〃）
長南町　志鎌定彦（〃）
八日市場市　有田哲（〃）
富里村　増田茂（〃）
葛飾区　大川ひさお（〃）

4・23（16時）全組合員は、津田沼駅北口に総結集しよう

駅頭宣伝応援行動に総決起しよう！